

詩を味わおう

めあて

読み取った作品のよさや自分の感想が相手に伝わるように音読を工夫しよう。

Cの詩

「こには、「耳」(ジャン・コクトー)の詩を拡大して提示する。その際、海の響きの部分をカードなどで隠しておく。

巻き目

絵や写真

私の耳は貝の殻 海の音が聞こえるよう

海の響き 耳に聞こえる波の音。よいんがある。

なつかしむ 以前行った海のことを思い出している。

音読：なつかしむ、響いてくるように：ゆっくり語尾の調子を下げて。

海の響きが聞こえてくるように：静かな声で間を取りながら読む。

Dの詩

「こには、「蝶」(ジュール・ルナール)の詩を拡大して提示する。その際、題名の部分をカードなどで隠しておく。

二つ折りの恋文 ゆらすとちょうが飛んでいるように見える。

花の番地 手紙を届ける住所は、ちょうが好きな花。

ラブレターが好きな人のもとに届くように。

・ 捜している 好きな人を捜すように、花のみつを捜している。

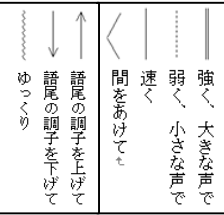
音読：うれしそうに：明るく、高めの声で読む。語尾の調子は下げない。

てれるように：秘密にしたいので、間を取って、ささやくように読む。

短詩に込められた思いを聞き手に伝えるには：

音読の工夫を表す記号

文章を読んで思ったことや考えたことが伝わるように、声の大きさ、声の質や速さ、間の取り方などを工夫して音読しよう。



2 / 3時間目 指導略案 使用するワークシート… 活動のねらい

比喩表現の叙述から想像を膨らませて、表現のよさを味わい、工夫して音読することができるようになる。

1 学習のめあてを確認する。

詩の中の言葉に着目して想像を膨らませたことを、工夫して音読に表現することを確認する。

2 「耳」の詩を鑑賞する。(Cの詩)

【発問】なぜ「私の耳」は「貝の殻」なのでしょう。その理由を考えましょう。

「私の耳」は「貝の殻」である理由をワークに書いて発表する。

「私の耳」がなつかしむのは何か、なぜ「音」ではなく「響き」なのか、その理由を考え、意見を交流する。

作品のよさや感想を音読にどのように表現するのかを考えて意見を交流する。

3 「蝶」の詩を鑑賞する。(Dの詩)

本文を読んで、題名を考え、その理由を書いて発表する。

「二つ折りの恋文」や「花の番地」など二つ二つの言葉を取り上げて、想像できることを述べ合い、音読の工夫について、意見を交流する。

考えが出ないときには、二つ折りの紙を動かし、その動きから蝶をイメージさせ、比喩表現であることに気付かせる。

4 二つの詩から好きなほうを選び、音読する。

作品のよさや感想を聞き手に伝える音読の工夫をまとめ、記号を確認する。

音読の工夫の記号を詩の行間に書き入れ、音読の練習をする。

グループや全体で詩の音読を聞き合い、表現を味わう。

5 音読の感想を交流する。

「明るく読む」「少し照れるように読む」「秘密なので、ささやくように読む」

「共通しているところは、うれしい気持ち」「など、一人一人の解釈の違うところや同じところを視点にして感想を交流させ、詩の表現を味わわせる。

評価 比喩表現の叙述から想像を膨らませて、短詩に込められた思いを読み取り、工夫して音読している。